

2025年度 春学期・夏学期開講

科学技術政策特論

第1回講義

北海道観光 未来への戦略 ～ そうだ、北海道がある ～

北海道科学大学 地域共育センター 副センター長
木本 晃 氏

- 観光戦略を持つとは、誰かの指示を待つのではなく知恵を絞るということです。地域が主体性を取り戻すチャンスです。仲間と力を合わせ、周辺の地域と協力し、異なる産業分野の力を借りなければなりません。誰かひとりが稼ぐのではなく、稼ぎを地域に還流させる仕組みを作らなければなりません。地域に足りないものを補うことが重要です。
- 観光とは、限られた力を結集し、1+1+1を5にする仕掛けのひとつです。世界中にファンを作るとのことです。北海道を、挑戦する者の集まる場所にしたいと考えます。挑戦する者を応援するということです。北海道を、こどもを育てたい場所にしたいと思います。地域がこどもを応援するということです。みなさんの力をお貸しください。

日時： 4月11日(金)

5 講目 16:30-18:00

受講方法：

オープンホールによる対面授業

木本 晃 先生

北海道出身、昭和58年北海道大学工学研究科建築工学専攻修士課程退学。

北海道入庁、建設部住宅局住宅課長、総合政策部交通政策局新幹線推進室長、同部航空局長、経済部観光振興監、(株)北海道二十一世紀総合研究所特任審議役の勤務を経験され、令和6年年4月から現職。

工学部出身であることを活かし、観光政策はもとより、より幅広い分野において科学技術政策の重要性を広めています。

担当：工学系教育研究センター 小崎 完教授